

平成 19 年度各委員会活動方針

< 第1種 >

- 根室社会人リーグの円滑な運営と、新規チームが参戦しやすい環境づくりを行なう。
- 道東ブロックリーグ参戦に伴うチーム育成及び運営を行い、根室地区から北海道リーグへの参戦をめざす。
- 各種別と協力し、サッカーファミリー拡大をめざす。

< 第2種 >

- 管内7校のサッカー部の活動を支援し、生涯にわたってサッカーを楽しむ態度を育てる。
- 大会運営を円滑に行い、各種大会の充実・発展をめざす。
- 管内リーグ戦等を実施し、選手の試合経験を増やすことで、チームの向上をめざす。
- 1種・3種と連携を図り、一貫した指導体制の確立をめざすとともに、管内のサッカーの発展をめざす。

< 第3種 >

- 春先のリーグ戦から北根室ジュニアユースが参加できるように、出場人数や対戦形式を柔軟に対応する。
- 審判資格、指導員資格の取得と、保持者の上級へのステップアップを奨める。

< 第4種 >

- 加盟チーム増に向けて未登録チームの活動支援、フェスティバル等に積極的参加を呼掛ける。
- トラック協会杯全道少年（U-11）の全道大会を成功させる。

< フットサル >

- ファミリーフットサルフェスティバルの2回を継続開催しサッカー人口増に努める
- 各委員会と連携しフットサルの普及に努める。

< 女子 >

- 根室市の女子チーム（オーバー13）を基盤に活動ができつつある、今年度はアンダー12の管内のチームを立ち上げ、各種フェスティバルへ参加し女子の技術向上に努める。
- フットサル大会の開催。

< 審判 >

- 全道大会への計画的な準備＝情報収集・2級審判員の他地区への協力要請・定期的な研修会を実施（アシスタント、フォースも含め）
- 普及活動を充実させる＝ベーシックなことのできる審判員の増加（自分達の大会は自分達で）・各地域で実技研修会を実施
- 強化活動の徹底＝2級候補者の精選・継続的な研修会の実施と体系的な指導
- 審判活動への理解を求める（審判員の地位向上）＝種別、地域の委員会との連携・選手、指導者との協力体制

< 強化技術 >

- 道東ブロック・北海道を代表する選手の発掘及び強化
- 指導者のレベル向上及びベクトルの統一
- 各カテゴリーにおけるトレセン活動の定着

< 普及指導 >

- キッズカテゴリーへの普及活動・少人数で活動している小中学生を支援していることを認知してもらう。
- 保育園・幼稚園等への巡回指導の継続
- 小規模小中学校でのサッカー指導・活動協力
- サッカー教室等、各市町協会の事業への協力
- キッズ指導者の発掘と育成

< シニア >

- サッカーを生涯スポーツと位置付けし、40歳以上のプレーヤーの発掘を図る。
- 根室・別海・中標津など比較的对象者の多い地区で、それぞれで積極的な活動を行い、冬眠中のプレーヤーを呼び起こす。
- 活動内容
 - 1 各地区で休日や夜間に、芝のグラウンドで練習、試合（人数にとらわれない）を行いサッカーの楽しさを再認識してもらう。
 - 2 練習することでサッカーに慣れ、楽しみを感じるようになった段階で、試合（根室・別海・中標津）を組み、各地区の交流を図る。
 - 3 秋季のシニア大会や冬期のフットサル大会を企画し、平成20年度でのシニア登録を目指す。（状況に応じて平成19年度登録もあります。）
 - 4 選抜で参加できる全道大会には積極的に参加する。

< ファミリー拡大 >

- ホームページの開設とサイトの運営＝ファミリー拡大のための具体的なページの作成・各種大会速報・管内市町協会の紹介・スポンサー紹介